

【様式1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	茨城県		
取組市町村名 取組団体・企業名	ひたちなか市立那珂湊第二保育所		
取組の名称	みんなが食べている給食は、どこから来るの？ ～給食に携わる方へ感謝の気持ちを持つ～		
実施時期	6月19日（月）10：00～11：20	3～5歳児（22名）	魚屋見学
	6月29日（木）10：30～11：00	3～5歳児（22名）	ビデオ上映会
取組内容に該当する食育ピクトグラム			
取組内容	<p>“毎日食べている給食の食材はどこからきているのか？”という話になった際、魚は「給食の先生が釣ってくる」、肉は「牛を保育所に連れてくる」など驚きの答えがありました。そこで、子ども達に「給食はどのようにして出来るのか」を伝えようと、今回の取り組みを行いました。</p> <p>ひとつめは、保育所に食材を届けてくれる業者の中から魚屋さんを見学しました。「(魚屋に)行くのは初めて」という子が殆どでしたが、大きな平目が登場し、実際に触れる経験をすることで、子ども達は大喜び。魚を給食室に届けていることも知ることができました。</p> <p>魚屋見学の様子の写真を保護者に配信したところ、家庭でも話題に上がり、親子の会話が弾んだ様子でした。</p> <p>ふたつめは、給食室で食材の納品や調理工程の様子を撮影し、上映会を開きました。この日は、ハンバーグ。ひき肉が徐々に変化して、ハンバーグになっていくところを真剣に見ていました。「大変だね～」「鍋大きい」「野菜たくさん切るんだね」など色々な声がありました。</p> <p>取り組み後の子ども達の反応として、給食の先生に会うと「いつも(作ってくれて)ありがとう！」と自ら感謝の気持ちを伝えていました。また、納入業者さんにもお礼の気持ちを伝えようと各クラスで感謝のお手紙を作り、子ども達から直接渡しました。業者さんはとても喜んでくれました。</p> <p>普段何気なく食べていた給食は、様々な人が関わり、多くの工程から作られていることを知り、今まで以上に食に対する興味、関心を持つことができました。何より「届ける、作る、食べる」人同士の交流から子ども達が感謝の気持ちを持つことに繋がりました。</p>		

